

2.4) 経管栄養離脱率 (回復期リハビリテーション病棟)

- 口から食事が食べられずに経管栄養が必要な状態で入院された患者さんのうち、経口摂取に移行した患者さんの割合を示しています。
- 経管栄養は患者さんの不快感、栄養摂取に時間を要する、排便コントロールの難しさなどのデメリットがあり、可能な限り経口摂取につながるよう支援をしています。
- 摂食機能訓練、口腔内の健康状態観察評価、多職種ミーティング等を取り組みとして実施しています。

経管栄養離脱率

経管栄養患者（2023年度）	61名
経管栄養離脱者（2023年度）	10名
年間離脱率	16.3%

経管栄養患者と離脱患者

